

肝膿瘍に対する治療を受けた患者さんの情報の研究 利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター消化器内科では、「臨床情報を用いた肝膿瘍の成因と治療成績に関する後向き観察研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、当院で肝膿瘍の治療を受けた患者さんの診療経過や治療結果を調べて、肝膿瘍診療の重症度の推定や診療ならびに治療の確立に結びつけることです。

この研究のため、2010年1月1日より2024年12月31日までに当院にて肝膿瘍の治療を受けた方の診療録、血液検査、画像検査、細菌検査等の調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（診療経過や検査結果など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年2月

研究責任者

東京医療センター 消化器内科

福原 誠一郎

連絡先 03-3411-0111(代表)